

平成26年8月6日

長薬同窓会役員各位

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究科長 小路 武彦 (公印省略)

利根川進博士特別講演会の開催について (ご案内)

拝啓 日頃より本研究科の教育研究にご支援を賜り、御礼申し上げます。

標記のことにつきまして、本研究科ではこの度、ノーベル生理学・医学賞を受賞されました利根川進博士をお迎えして、下記のとおり講演会を開催いたします。

つきましては、参加をご希望される場合は、お手数のことと存じますが、平成26年8月25日(月)までに下記担当まで、氏名・e-mail アドレス又は電話番号をご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

敬具

記

題 目 : 記憶のメカニズム  
日 時 : 平成26年9月2日(火) 18時30分～20時00分  
場 所 : 長崎大学中部講堂 (長崎市文教町1-14)  
費 用 : 無料

担当 : 医歯薬学総合研究科総務課総務係 堀口  
電話 : 095-819-7004 FAX : 095-819-7166  
e-mail : syo\_med@ml.nagasaki-u.ac.jp  
送付先 : 長薬同窓会事務局

## 【利根川進博士プロフィール】

- 1939年 愛知県生まれ
- 1963年 京都大学理学部化学科卒業
- 1968年 カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）生物学部博士号
- 1971年 バーゼル免疫学研究所（スイス）主任研究員（～1981年）
- 1981年 マサチューセッツ工科大学（アメリカ）教授（現在に至る）
- 1984年 文化勲章受章
- 1987年 ノーベル生理学・医学賞受賞
- 2008年 理研-MITセンター神経回路遺伝学研究センター長（現在に至る）
- 2009年 理化学研究所脳科学総合研究センター長（現在に至る）

利根川博士は、マウスのリンパ球B細胞が限られた遺伝子セットからほぼ無数ともいえる免疫グロブリンの多様性を生み出すしくみとして、細胞の分化過程における遺伝子再編という特殊なしくみがあることを解き明かしました。

ノーベル賞を受賞したあとは、研究分野を脳科学領域へ転換し、当初はCre-LoxPなどの脳内での限局的な遺伝子改変マウスの行動解析によって、遺伝子と神経回路と行動の相関解析を進めましたが、最近ではさらに記憶の曖昧さや意識への変換、あるいは統合失調症の分子機構など、マウスの脳から私たち人間の脳の複雑な意識や心の問題にまで科学的なメスを入れています。

MITと理研、日米を股にかけ、常に新しいことにチャレンジし続ける利根川博士。

今後脳科学や分子生物学はどう展開すべきなのか、昨今揺れ動く日本の科学界の中で、真の科学研究はどうあるべきなのか、ノーベル医学生理学賞受賞者である利根川進先生の大胆な発想や考え方の基礎はどこにあるのか？そんなヒントが語られるかもしれません。